

デュブロン・ウラ



デュブロン



ウラ

施工前にご準備いただくもの

- ・デュブロン ・ウラ ・ベドフィラーパテ
- ・グラバシーラー ・#120サンドペーパー ・ローラー
- ・ヘラ ・ジョイントテープ ・マスキングテープ
- ・デュブロン・ウラ調色用缶

①施工準備

デュブロン#400は石膏を主成分にした内装用塗材です。柔軟性があり割れにくい特徴を持っていますが、下地が動けばクラック発生のトラブルにつながります。主な原因としては石膏ボードの取付不備、急激な仕上げ材の乾燥があり、これらを守るためにも、施工要領書に従い、施工を行うことを推奨いたします。又、下地の不具合は上塗りでカバーすることはできませんのでご注意ください。

②下地作り パテ処理



ジョイント石膏ボード(ジョイント部テーパ形状)を10-15cm間隔でビス止めし、ジョイント部に隙間やズレが生じないようにしっかり固定してください。ベドフィラーパテで、石膏ボードジョイント部とビス頭をパテ処理しフラットにしておいてください。直ちにジョイントテープを貼り、上からヘラで圧力をかけてシゴキ、テープとパテを十分に密着させ、余分なパテは取り除き乾燥させてください。(乾燥時間は製品説明書参照)

Point

ファイバーメッシュテープよりジョイントテープの方がクラックが発生しにくいのでおすすめします。

③パテ中塗り処理・出隅・入り隅処理



②の下地作業の後に、ベドフィラーパテを使用し、ジョイントテープの上からヘラで25cm幅にパテを平滑に塗り、フラットに仕上げてください。ビス頭も、もう一度パテ処理してフラットにしておいてください。

出隅・入り隅は、パテでジョイントを埋め、上から半分の巾に折ったジョイントテープを貼り付ける。すぐに、ヘラでパテをテープの上から押さえてしごき、空気を抜いて密着させる。または吉野ジョイントコーナーを同じく貼り付け、上から押さえる。



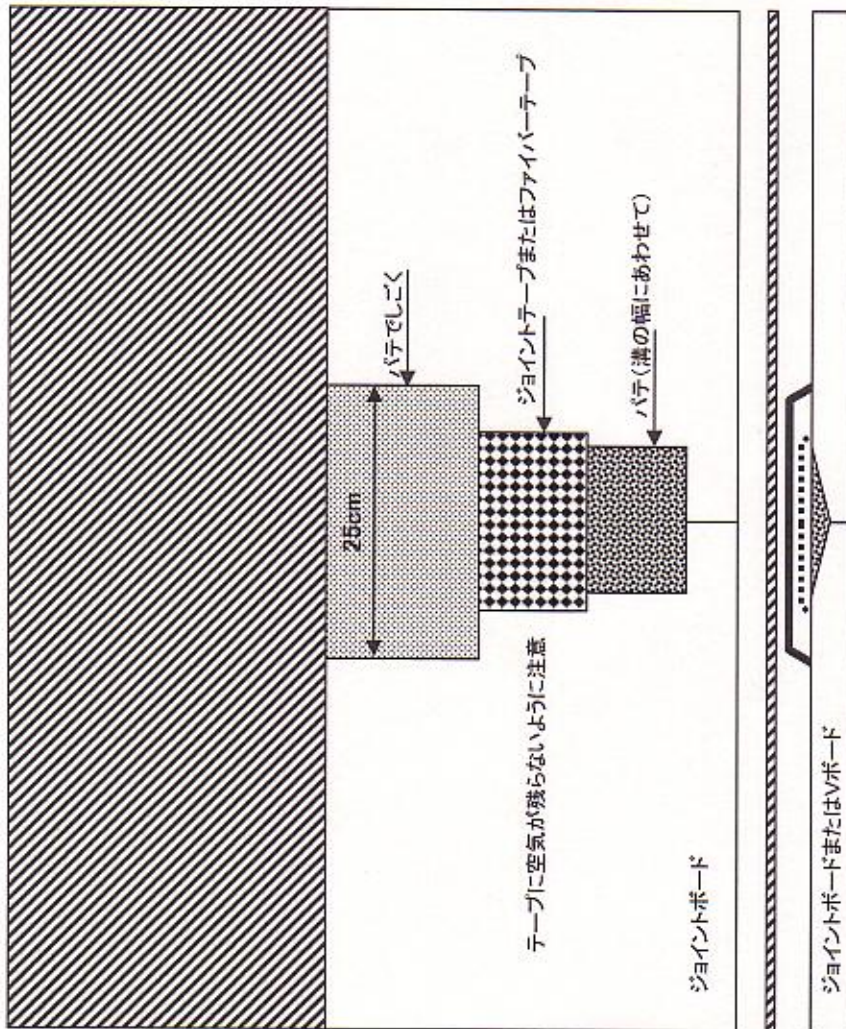
ベドフィラーパテをジョイントテープの上から、中塗りのムラを直すように、25cm幅で薄く塗り広げる。ビス頭ももう一度、パテ処理して行ってください。

Point

ベドフィラー以外のパテを使用する場合、ボード面とパテ面が吸水率が変わり、仕上げ材の表面につやムラが出る可能性があります。パテは天然100%のものを推奨します。

石膏ボード用下地処理方法

全面



⑤デュブロン下塗り



下地が平滑であり、十分乾燥していることを確認してから、出来あがった下地の上に、グラバシーラー#408を水で2:1に希釈した溶液をローラーで塗り広げ、24時間乾燥させてください。

⑥デュブロン上塗り



デュブロンをローラーで薄く塗り広げる。24時間乾燥後、もう一度ローラーで塗装してください。着色する場合、最初にウラ410を少量のデュブロンに混入し、攪拌機で良くかくはんした後、デュブロン全量を入れ攪拌機で5分間かくはんする。例えば、デュブロン5L + ウラ0.125Lを混ぜ合わせると3%調色になります。

Point

ウラ410調色は、最初にデュブロン400とウラを1:1で混合し、その後、デュブロンを希望の量加え、攪拌しながら色決めをしてください。ウラ410顔料は攪拌機で5分以上の十分な攪拌を行ってください。気温が5度以下の場合、温水で暖めて、攪拌すると混ざりやすくなります。

メンテナンス

デュブロンが汚れてきた場合、軽い汚れなら消しゴムで落とせます。ひどい汚れの場合、上からデュブロンを塗る面の色に合わせ、ローラー又は刷毛で極薄く塗ってください。

警告

- ・施工は室内温度15度以上の条件が適しています。気温5度以下の場合には施工を中止してください。
- ・使用後のデュブロンは冷暗所に保管し、2~3日中に使い切ってください。